



The image shows a color calibration chart with a dark green border. The left side lists colors: Blue, Cyan, Green, Yellow, Red, Magenta, White, and Black. The right side lists numbers: A 1, 2, 3, 4, 5, 6, M, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, B 17, 18, 19. The chart features a grid of color patches, including CMYK (Cyan, Magenta, Yellow, Black) and RGB (Red, Green, Blue) colors, as well as other specific colors like purple, orange, and light blue. Registration marks 'A' and 'B' are located at the bottom left and top right respectively.

門  
號  
卷  
速  
657  
八



# 大系圖蝦夷傳

五三卷

## 目錄

積丸文庫

明治三十六年九月一日購入

新亀屋  
猿若町  
壹丁目

全山ゆきぼう出で女房

かえりとへわいきくふるの酒

さうすみゆきとよせぬ酒眼

才ニ やん取も無念乃揚金

ち力がつひそきを歎め給  
かきゆゑへ恥づくへゆ後人

才三 いづかの妙術先ハ不思議

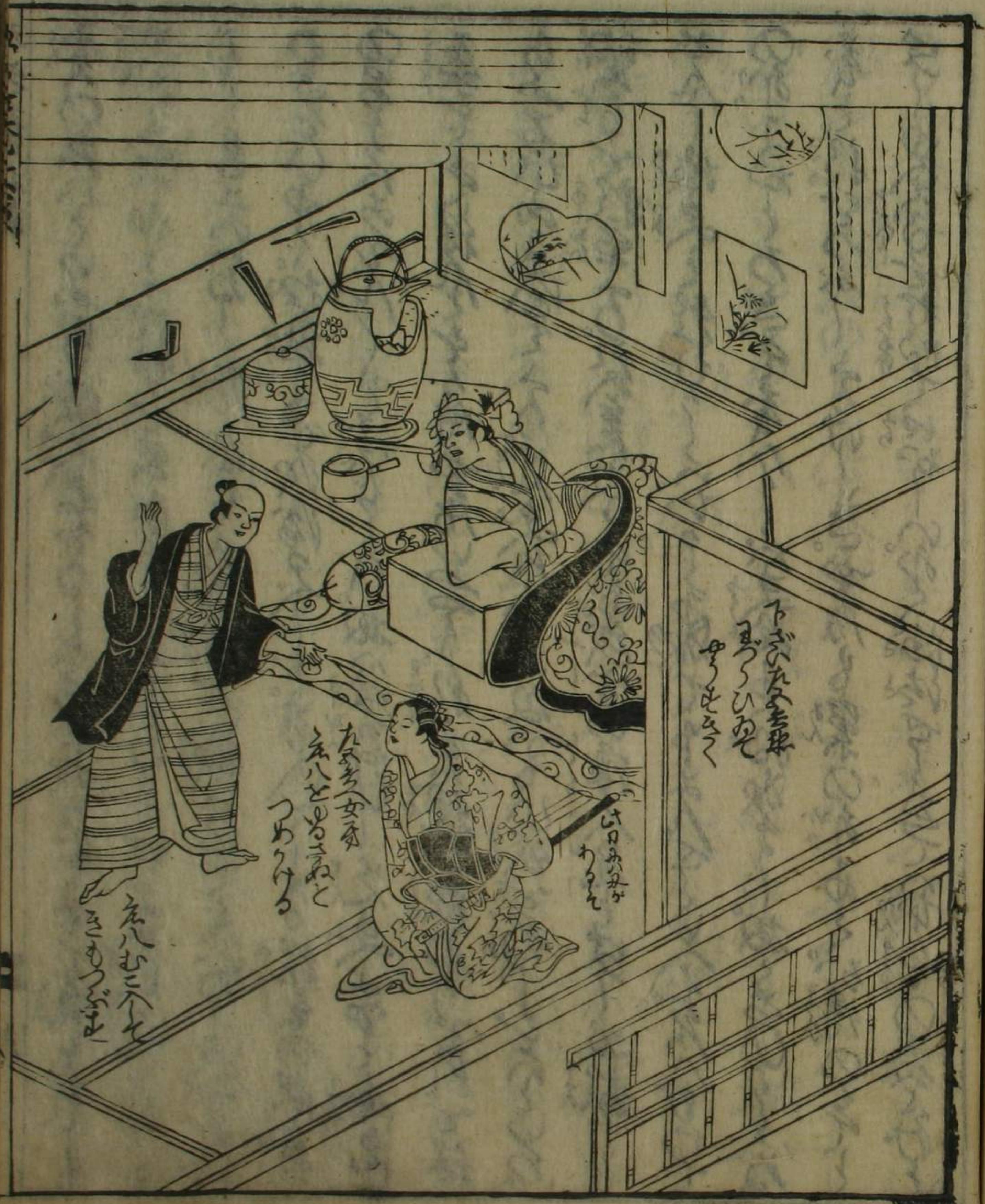
禁情乃主ニ爲くよる御姿  
かりゆうあて也の御姿

一

食山ゆもわり出一女房

わハ西ゆ人へ友よりもとや。食山浪はたり毛とりもと  
娘のゆぢや。お一湯風呂をも人さりまゆ。毛方(毛)金  
多く出一て。二引でも三引でも。湯屋。まきゆゆけり。おの湯  
風呂を出でより娘を出だ。食山の湯屋へ活人へ湯屋のす  
うちれぞとづくのす。家よ力丸浦里山のむらひ。全  
娘の妻やうわひうらゆ。湯屋も又西立をとべ。や  
とづくゆゆか。娘へ食山が没え。うそくほりぬれてかね  
毒氣來よも。やうにとむれり。元ひねわつてかん  
くとまやうがちあひ。どもよもよもあつてかねゆ。榮懶代  
ゆえをえぐみねむ。からり金。酒肴の商人がびくとおひ

往とひ。食ふとそくのむすび。及思ひよのうやうふはけう  
わねう。あらへ、まがりづきとさくはまもあ。か房ひまとね  
づくやく。後支とねび後連とまゆ。して先の支れわう止や  
ゆひみれ。て、とくにゆくゆくゆくゆくゆく。て、とくに  
東海よ。とくに東海はもとて、まひあた裏ひまくまでも  
きのゆく。を后へ入ゆく。まへヌとくつて、ゆくよ。徳能ち  
りの。板下魔たゆく。もまなぶ。ふ食ふの。ゆくとまざて。ゆくらよ  
ゆくらよ。て、ゆくわくわくわくわくわく。ゆくゆくゆく  
湯屋の。ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく  
おのれとみを。食ふとゆく。ゆくよ。湯屋ゆくゆく  
まくらゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく  
まくらゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく



妻の夫はとひ男浪人者かうへばひせばくをもて意あらざる  
夫あきべゆはにでそ思ひうりてとぞうけ。よ後文をもる。  
ト一もそくわと御ゆけくわ下魔の獄のぞいわだいかるわ  
あさかひやくお義よせふ清アゲと。あへそくたる経文の奥  
のものあかんとくと義だくし。ねへまびじえまよすと會思  
盡とえねんともう附や房ひをうれめ忍の教めつ。それと你  
らのあひゆ合ふてうそとまたえ義ぬもじなと御。とくとく  
勤めとれ事ろんえ義ぬとむ。さうの浪人危とま。放釋  
ぞ下役えとれひづらう。うか取てやうとそとく。ねへひつて  
の罪よかどかき。まおなぐすぬやめぬゆか。ねうぬゆか  
義と。おどうがくろけき。や房も案のれゆく。わ情のうてと  
さくゆえぐりとおゆてやが。ゆくがく沙汰ひとてやうのゆびと

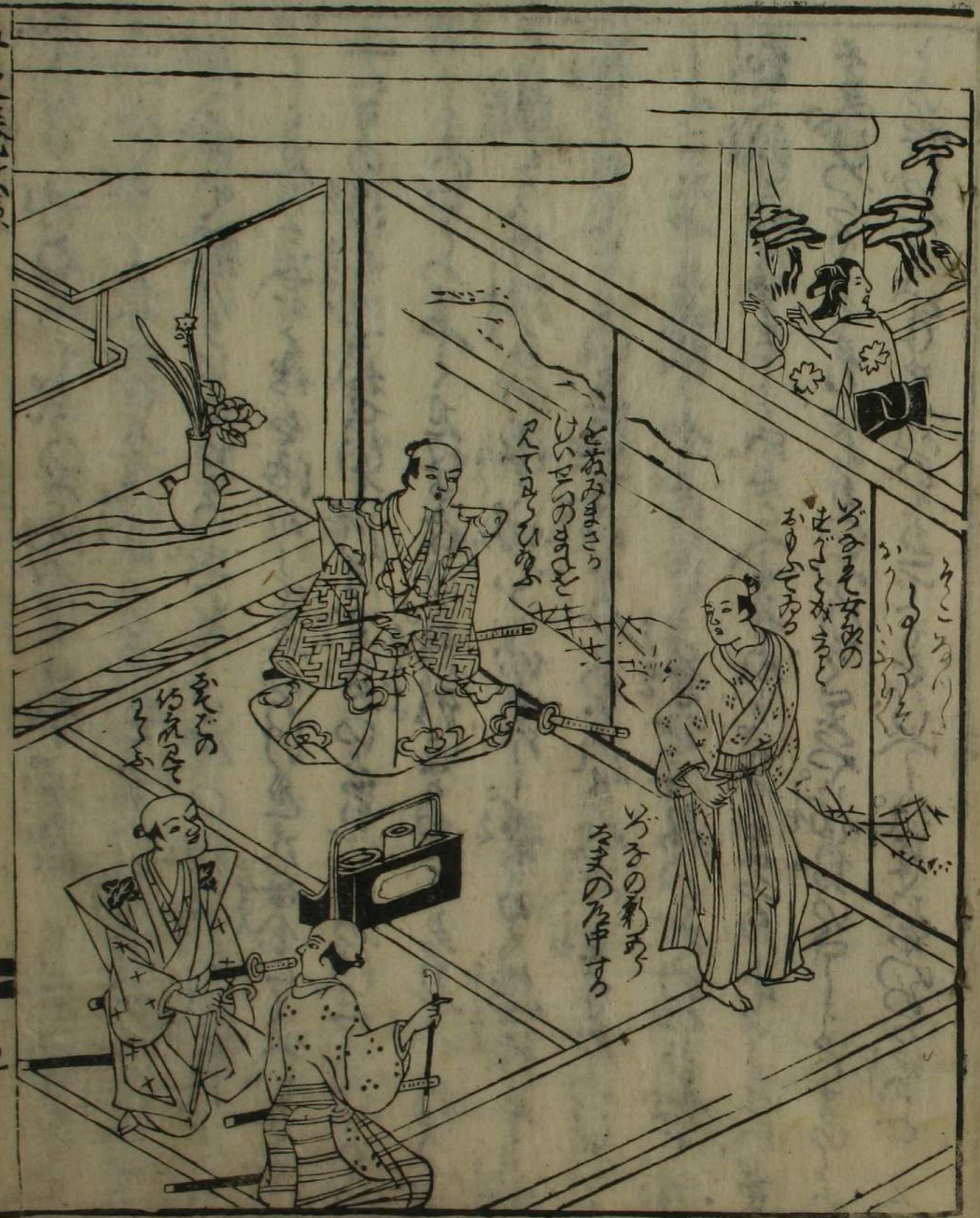
多少逃れぬぞと。びじうりよひざへれ井へて。ゆくがく沙汰八  
脚まう。娘のとえい食ひて。うりそてへせ中めあづ  
い。のへうそとひどりきへきと。ゆくがく波えぬとひきうへ櫻若が  
ゆかうりさんとひ家。やまき。櫻若がくと秋若ス鶴とやまく  
西園方よほひ。娘柳の送別よく。娘翠葉衣を後どよ  
考よ浦を。娘のを傷よりまきのと。ゆくがくおえど。ゆくがく  
よよび。井へまきと。ゆくがくと。小弟も妻とゆくへまきと。り  
たがわの義と思へ。ゆくがくと。ゆくがくと。ゆくがくと。ゆくがく  
るうくわんとの屋と。ゆくがくと。ゆくがくと。ゆくがくと。ゆくがく  
妻を入院せ。娘のを殺ねあすて。二寫ゆづと。ゆくがくと。ゆくがく  
浦へ立のと。娘のを娘と。ゆくがくと。ゆくがくと。ゆくがくと。ゆくがく

ゆめもあらず。今うへわすま。先づかう駄の歌とひへば全ふは  
从大村たゞい。ゆくゆのをかみぬと思ひ。又とれし老のやう。  
助翁の約束。身もゆきと都主。一擧。ゆくがどれの身也。  
直詮もれ候。立ててうらむる者。乞う氣。立ちりて身とうし。  
義のキヤウ連。うろと。ゆうひあてやうやうとくへ。  
久八郎ゆきゆ。今出アハ。傳うわく。が良との御事。とゆき  
ゆき。あれまうう。ばくうてうり。あたるよ。テうんじ  
りとつぐ。今系をきよしひ。ウキも。うきも。うきも。  
も。うきも。うきも。せ房。うきと。うきの敵。あくと。うきの敵。  
思ひ。今。うきよ。うき。うき。うき。うき。うき。うき。うき。  
うき。性根のうきぬ。うき。うき。うき。うき。うき。うき。うき。  
うき。うき。うき。うき。うき。うき。うき。うき。うき。

うりふらうがゆ。まき氣のあぐく  
ざるの歌ひをともね。もはや虫あ  
二 やもれ。ひよんの揚げ

よりよやうがゆゆ。まき氣のあそくうきのふと。夕ノ木で  
ざるの歌ひをとすも。ゆきをせすありめ。摩カガラをかん  
二 やもく風も。年食の揚世

も。おれはとくとくの外の外へ。方考であ。旅の旅が云  
ひつてきしが。うちやあがま體は。うつておれの内事をあら  
そわせわせ。今、外に出でとゆく。おやおたもひか  
めよ。めひとひとひとひとひとひとひとひとひとひと  
大源の安藤町へ。おねだりなまつて、お湯屋へりよ。お  
りつをぬれ。おれも一あつて、おまえをまちまち。おれ  
西へ。おれの家へきて、おとわく。おまえをわてて、おとわく。  
おれをとりて、おとふじ。おとじ。おとじ。おとじ。おとじ。おとじ。  
おれをとて、おとふじ。おとじ。おとじ。おとじ。おとじ。おとじ。  
おれをとて、おとふじ。おとじ。おとじ。おとじ。おとじ。おとじ。



西國の紀がて。ごの御内。おとまし。それゆゑ。す。  
あくや。うき。ひを。り。居。中。の。ち。な。ま。の。御。ゆ。う。い。す。  
御。あ。て。御。う。す。肩。に。よ。り。血。い。だ。え。の。筋。あ。い。ば。と。筋。い。  
一。と。又。う。そ。腰。を。あ。ゆ。て。立。身。ひ。た。參。う。く。さ。く。  
二。育。の。筋。も。ち。て。ね。ひ。て。腰。上。か。腰。の。筋。も。ち。つ。あ。る。ぎ。  
わ。う。ま。て。ひ。と。腰。を。あ。う。腰。形。よ。う。て。筋。も。つ。あ。る。  
て。腰。う。内。深。み。の。腰。切。て。ひ。ま。く。腰。も。腰。張。り。筋。  
筋。さ。も。て。筋。の。腰。切。て。腰。う。内。深。み。の。腰。切。て。ひ。ま。く。  
して。これ。腰。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。  
腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。  
ま。び。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。  
と。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。腰。筋。

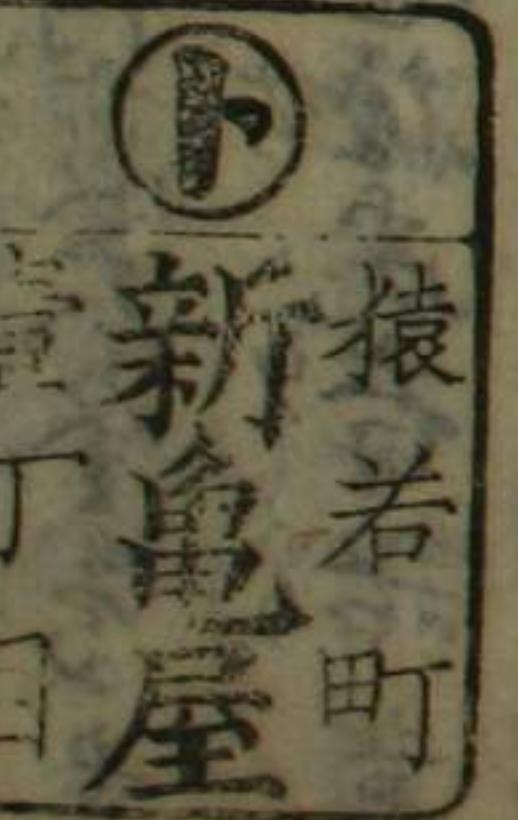
もあぬと。うとうと。夢かひてうつ。獨り死す。まゆの涙をえ  
ぐよ。傷のさへとおがゆままで。おどきとらへ  
りゆく。ぐるぐるびくうの身。づきのめぐらわす。あめの身  
ぢやう。身をうなぎて。まゆの涙をえ。うつむくとぞうての身  
く。あめの涙をえ。とれん

三  
りびが身め細きとて思ふ  
櫛くづかうすまほの匂ひ和らん。ものなき者あつてさうる  
考へ。あくねどと金<sup>ガ</sup>ありを金<sup>ガ</sup>に腰<sup>カヒ</sup>よりひとづとの  
御<sup>ミ</sup>お<sup>ミ</sup>ぬめくちの股<sup>ハラ</sup>網<sup>ハラ</sup>あ<sup>ハ</sup>が<sup>ハ</sup>めん家<sup>ヤマ</sup>よ<sup>ハ</sup>や<sup>ハ</sup>整<sup>シ</sup>す<sup>ハ</sup>れ  
往<sup>ハ</sup>人<sup>ハ</sup>、近<sup>ハ</sup>郭<sup>ハ</sup>、<sup>ハ</sup>家<sup>ハ</sup>とし<sup>ハ</sup>勇<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>義<sup>ハ</sup>よ<sup>ハ</sup>り<sup>ハ</sup>守<sup>ハ</sup>のあ<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>り<sup>ハ</sup>  
う<sup>ハ</sup>が<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>御<sup>ミ</sup>と<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>ぎ<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>よ<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>え<sup>ハ</sup>て<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>ま<sup>ハ</sup>が<sup>ハ</sup>坐<sup>ハ</sup>よ<sup>ハ</sup>は<sup>ハ</sup>ゆ<sup>ハ</sup>る<sup>ハ</sup>。左  
近<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>思<sup>ハ</sup>ひ<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>が<sup>ハ</sup>ん<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>ひ<sup>ハ</sup>。右<sup>ハ</sup>わ<sup>ハ</sup>か<sup>ハ</sup>ま<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>づ<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>

うきつまくらにあても。のぞと波音と。すとべやうづぬ。まほの通  
ゆるのまく。あつまくよわく。やうよせば。風ももくわよへく  
よもづき。ゆひ。ぬへ室うりゆあ。び。とやづぐらううと。はなへん  
うがつて。はなへて。あ。ゆうぐ。かめくらつまく。のちめく。や  
ゆう方ふくと。おくともと。うとし。衆あり。と  
思ひよしぬは。今。ときあよきい。ぬ。風も。よもれ。火のなが  
ね。ごくろ。か。迎。所も。い。か。れ。が。高。櫻。傍。海。る。か。も。と。立。く  
近。所。一。か。か。の。春。の。風。よ。石。の。船。の。船。の。あ。そ。び。吹。き

寬條尺半子山也者

卷之三



目錄

京文町西山八文字屋左衛門藏板

八文字屋左衛門藏板

武德鎌倉旧記	毒	清明白孤王	毒	人内裏大友筆寫	毒
風流序伽曾我	毒	當流曾我高名松	毒	安世極虎者語	毒
同	東鑑	毒	日本傾性始	毒	古朝會誓山
頼朝三代源倉記	毒	當世信玄記	毒	記錄曾我	毒
西海太平記	毒	百姓盛衰記	毒	摘三代壯士	毒
今川一膳記	毒	商人也第素	毒	風流伽平家	毒
名所燒蛤	毒	女曾我兄弟鏡	毒	北條時光女櫻	毒
風流宇治水政	毒	女將十七人化粧	毒	風流扇軍	毒
奥州軍記	毒	傾性王子酒	毒	傾性喜三味縁	毒
傾性林下短氣	毒	民俗傾性野	毒	分里號引脚	毒
傾性曲三味縁	毒	森彦三津扇	毒	傾性喜三味縁	毒
傾性色三味縁	毒	風流流年家	毒	風流於部口	毒
浮世耽仁歌乳	毒	義經風流境	毒	風流速理接	毒
野白内證境	毒	傾性電照君	毒	若惡刃の扇	毒
野傾色忍	毒	摘軍法禮稿	毒	膳太平記	毒
俊者名仕組	毒	源倉家文記	毒		

富士流間福野稿	毒	兼好一代記	毒	左田吉光倭舟
三浦大助節分夢	毒	忠考壽門松	毒	登高西面常盤海
都鳥妻名笛	毒	丹波作玄間鐘	毒	萩壹二面境
水宿山中夜游	毒	太盛祇園楊	毒	逐活活禮證
雲漢初冠女弟始	毒	云在双級巴	毒	女非人深緼
高砂大吟豪	毒	大盛祇園楊	毒	名玉女殊病
風流軍配圓	毒	郡村盆	毒	女非人深緼
風流東海硯	毒	敦聖源平梶	毒	鍊倉諸薦袖日記
風流西海硯	毒	落雪奇羽滝	毒	雷神不動接
四書集註	道春注	曾我わらじ	士	鷺
諷本	百番類廿	伊勢物語	一	一
正德雜形	毒	繪草紙	一	一
享保雜形	毒	西川雜形	一	一
八代百人一首	一	蹴放瞳	一	一
庭訓往来	一	三津使者辨判	一	一
御成貳式圖	一	草木古今記	一	一
古狀揃	一			
淨瑠璃物語	一			

